

市民のくらしをまもるため 3人が力をあわせがんばります

ひきつづき あたたかいご支援を よろしくお願いいたします



松浦 昇 (64歳)

(口和選挙区)

TEL・FAX 87-2516

現在/市議会議員(教育民生常任委員)

家族/妻(調理士)、2男、母

自宅/庄原市口和町大月229 2

略歴/ 口和町議会議員9期

庄原高校(農業コース)卒業

広島県青年連合会副会長

口和町農業委員3期



藤木 くにあき (54歳)

(庄原選挙区)

TEL 74-1190 FAX 74-0777

現在/市議会議員(環境建設常任委員)

家族/妻(看護師)、2女1男、両親

自宅/庄原市水越町598

略歴/ (旧)庄原市議会議員2期

庄原実業高校(農業科)卒業

庄原市職員労働組合委員長

庄原市PTA連合会会長



谷口 たかあき (50歳)

(東城選挙区)

TEL・FAX 08477-6-0151

現在/市議会議員(総務地域振興常任委員)

家族/妻(保育士)、1女2男

自宅/庄原市東城町帝釈宇山447

略歴/東城町議会議員4期

立命館大学(経済学部)卒業

県立東城高校PTA会長

消防団(帝釈6部)分団長

合併後初の市議会議員選挙で、日本共産党の議員が3人誕生しました。これもひとえにみなさんのお力添えのおかげです。私たちは、これからもみなさんと力をあわせ全力でがんばります。

生活相談に無料でとりくんでいます

気軽に「」連絡ください

ケーブルテレビ事業(74億円)は 当面凍結し 市庁舎(51億円)なども 市民の声をよく聞き 慎重に 再検討を

合併後の市政に一番求められていることは、市民サービスの向上です。日本共産党の3人の議員は、4月、5月の臨時議会でその問題を正面からとりあげ、全力でとりくんでいます。

大型建設事業の再検討を

「市民のくらしを守る立場に立つべき市政が、ケーブルテレビ事業などを優先し、市民に、高いゴミ袋を押しつけることは許されない」と指摘。市民の声をよく聞き、再検討するようつよく求めました。

新聞紙は無料で 定期収集を

県内市で家庭ゴミの有料化を実質的におこなっているのは、市と庄原市だけ。
「高いゴミ袋代を見直すべきだ」「特に新聞紙類は、収集場所を増やし、無料で収集すべきだ」「市長は、市民の声をどう受け止めているのか」と質し、
「(新聞紙類の)無料収集場所を増やす方向で改善したい」と約束させました。

東城の

乗り合いバスは実現のはこびに

東城地区の「乗り合いバス」3台(29人乗1台、15人乗2台)の購入が決まり、一歩前進させることができました。

「コンピューター処理がスムーズにいけない責任は請負業者にあるのではないか」

合併後、市役所では、超過勤務が激増し、職員健康が心配されています。

私たちは、その原因が、「コンピューターシステムがうまく完成していないことにある」と指摘。「期限までにシステムを完成させられなかった請負業者に賠償責任を求めるべきだ」と質しています。

財政難のもとで、市民のくらし・福祉・教育 最優先の市政をすすめるには、ケーブルテレビ事業(74億円)の凍結など、大型建設事業の規模と内容、優先順位の見直しがどうしても必要です。

私たちは、そのためにひきつづき全力をつくします。

インターネット(ADSL)をご利用の方、または、公民館などの公共施設でインターネットをご利用の方は、下記のホームページで(市議会の録画を呼び出し)3人の質問の詳細をご覧ください。
ホームページ <http://sjcp.web.infoseek.co.jp/fk/>